



音楽への情熱と、故郷への想いをつなぐ

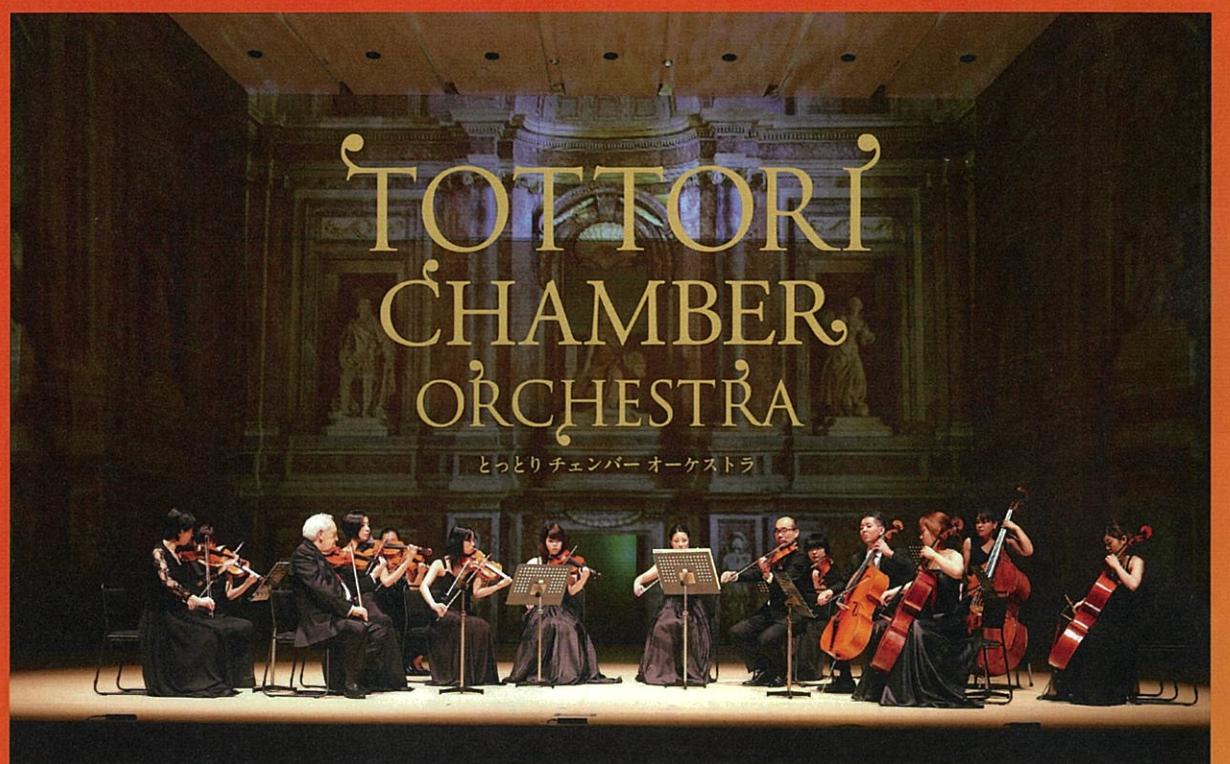


鳥取県に
ゆかりのある
プロの音楽家が集う
室内合奏団

鳥取県文化振興財団プロデュース公演〈音楽〉

TOTTORI CHAMBER ORCHESTRA

とっとり チェンバー オーケストラ



『弦楽アンサンブルコンサート』 音楽監督／フェリックス・アーヨ（2016年11月6日／とりぎん文化会館梨花ホール）

鳥取県にゆかりあるアーティストが集い、 弦楽の魅力を発信する

とっとりチェンバーオーケストラ（以下TCO）は、2016年10月に開催したプロデュース公演をきっかけに結成した、鳥取県出身・在住のプロ奏者による室内合奏団です。

このプロデュース事業は、『鳥取県クラシックアーティスト・オーディション』など財団主催事業でこれまでに育成・協働してきた“人”とのつながりを活かして、プロフェッショナルのサポートを受けながら事業を通じてさらにつながり、協働して舞台作品をつくる事業です。

県内における弦楽のあゆみを明治までさかのぼってふりかえり、鳥取県が弦楽文化の強化施策として行った事業やオーケストラ連盟の発足、プロを目指す奏者の支援環境など、弦楽に関わる状況把握を行ったうえで、コンサートの実施に至りました。2016年のコンサートでは、演奏者や活動団体、指導者、支援者のネットワークをつくる

ことを第一に、第二に県出身・在住の優れた演奏者の紹介と併せて弦楽の魅力を発信することを目指しました。

このつながりを一度きりで終わりにせず、これを契機にネットワークを広げ、深め、継続的に弦楽の魅力を発信する場をつくりたいという想い、そして将来的に管楽器を迎えた幅広いプログラムを演奏する合奏団に発展させていきたいとの想いから、室内楽を意味するチェンバーに名称変更し、「とっとりチェンバーオーケストラ」として活動を展開していきます。

一人ひとりの音楽に注がれる情熱はもちろん、鳥取に対するそれぞれの想いを背景に、奏者が自分自身と向き合い、主張し、そして他者と響きあうことでのこの場でしか奏でられない音楽を創造していきます。未来に向けて奏でるTCOの響きにご期待ください。

音楽との出会いは、会場で。

目の前で奏でられる音楽には、魔法のような不思議な力があります。

体に響いてくる音や美しいハーモニーに、うつとりしたり、心が温かくなったり、ドキドキしたり、…

心が動き出して、言葉にできないさまざまな感情が沸き上がります。

とっとりチェンバーオーケストラは、鳥取県内のいろんな場所で様々な方に向けたコンサートを行っています。

会場でみなさんにお会いできることを楽しみにしています。

ホールコンサート

弦楽合奏の醍醐味を感じられる、10～20人程度の編成で行うコンサート。今後、管楽器奏者や声楽家を迎えたコンサート、合唱団やダンサーと協働する企画などにも活動の幅を広げていきます。

親子向けコンサート・キッズコンサート

音楽に初めてふれる小さな子どもたちや、親子で楽しんでいただけるコンサートです。

学校訪問コンサート（とっとりの芸術宅配便連携）

鳥取県文化振興財団主催事業「とっとりの芸術宅配便」の登録アーティストとして、鳥取県内の小中学校及び特別支援学校を訪ねて、弦楽器の特徴や音色の聞き比べなどを交えながら、生演奏ならではの音楽の魅力を伝えています。

アンサンブルクリニック（アーティスト育成プログラム）

音楽に親しむ若き演奏者の技術や意欲を育て伸ばすきっかけにしてもらいたいとの願いで、一年に1回、地域の指導者と共に、メンバーが講師となって指導しています。地域を越えた子どもたちの交流と学びの場です。



鳥取県文化振興財団プロデュース公演〈音楽〉

**TOTTORI
CHAMBER
ORCHESTRA**
とっとりチェンバーオーケストラ

公演スケジュールなどの最新情報や
メンバープロフィールはこちら ➤➤➤



企画・監修：山田衛生（鳥取県オーケストラ連盟副会長／鳥取県合唱連盟理事長）

プランニング・アドバイザー：門脇大樹

主催・制作：（公財）鳥取県文化振興財団

[お問い合わせ]（公財）鳥取県文化振興財団 とりぎん文化会館

TEL. 0857-21-8707

音楽・演劇・バレエ・伝統芸能などの公演情報が届く！
インターネットでチケットが買える！

鳥取県文化振興財団インターネット・チケットサービス [要登録 / 無料]



弦楽器

マツやカエデなどの木材でつくられた胴体に、4本から5本の弦が張られています。馬のしっぽの毛で作られた弓で弦をこすったり、指ではじいたりして弦を振動させることで、胴体全体に「共鳴」し、美しい音が響きわたります。



ヴァイオリン

弦楽器の中で最も胴体が小さく、高い音域を出せます。明るく華やかな音色で、技巧的な技を見せたり、主要なメロディーを奏でることが多い楽器です。

チェロ

見た目、音ともに存在感がある楽器。音域の広いチェロの独奏では、優雅かつダイナミックな演奏を聞くことができます。

ヴィオラ

ヴァイオリンより一回り大きく、音域は人の声に一番近いと言われています。合奏の中では味わい深い低音で演奏に厚みを加え、ハーモニーをつくるために重要な役目をしています。

コントラバス

全長が約170~200cm程度あり、ほぼ人間と等身大。力強い低音で音楽を支えています。

代表的な演奏形態

楽器の種類や配置で形態の呼び名は様々に変化します。

カルテット（弦楽四重奏）

ヴァイオリン2本、ヴィオラ1本、チェロ1本で編成。“弦楽四重奏の父”ハイドンをはじめ、モーツアルト、ベートーヴェン、シューベルトほか現代に至るまで多くの作曲家が弦楽四重奏の名曲を生み出している。この演奏形態は最も身近なかたちとして世界中で親しまれています。

オーケストラ

弦楽合奏にオーボエ、クラリネット、ホルン、トランペットなどの管楽器や打楽器が加わり、100人前後で演奏します。

チェンバーオーケストラ (chamber orchestra)

弦楽器、管楽器などの楽器を中心に、2人以上の少人数で編成されます。少人数だからこそ、演奏技術と音楽に対する精神的成熟は音楽に表れます。お互いが視線を交わし、音を聞き合う気配には親密性がある一方で、白熱するようなスリリングな音楽も味わえます。

TOTTORI CHAMBER ORCHESTRA

とっとり チェンバー オーケストラ

鳥取にゆかりある演奏家たち

NHK交響楽団監修のもと鳥取県文化振興財団が実施してきた「鳥取県クラシックアーティスト・オーディション」の受賞者や未来を期待される若手演奏家、県内を拠点に精力的に活躍し弦楽文化の振興に貢献する奏者、そして国内外でオーケストラなどに所属して活躍する奏者で構成しています。

- Q1 演奏家として一番大切していること、自身のテーマ
Q2 近年、チャレンジ・探求していること
Q3 これから弦楽合奏をもっと聴いてみたいと思っている方に「聴いて欲しい曲」と、その理由
Q4 あなたにとって「鳥取」とは



時本 さなえ

Sanae Tokimoto
ヴァイオリン奏者／指導者



生原 幸太

Kota Ikuhara
音楽家

violin



桑本 ゆうき

Yuki Kuwamoto
ヴァイオリン教師

violin

- Q1 私の演奏や言葉がこどもたちの心の引き出しに残っているような、役に立つレッスンをしていきたい。

- Q2 日常的に音楽に触れる機会の少ない方に音楽の素晴らしさを広めたいと活動しています。

- Q3 ハイドン：
弦楽四重奏第77番 作品76-3「皇帝」

クラシック音楽は日常に溶け込んでいて、曲名や作曲家も知らないまま口ずさんでいます。第2楽章の旋律は、ドイツ国歌に用いられており、各パートが代わる代わる弾くので音域の違いも楽しめます。

- Q4 心地よい場所。



山田 美怜

Mirei Yamada
「アヴォス・ピアノ・カルテット」ヴァイオリン奏者

violin

- Q1 何十回と同じ作品を演奏しても、一度として同じ演奏をしない事。
Q2 バッハの「ヴァイオリンのための無伴奏ソナタ、パルティータ」全曲演奏会。ヴァイオリン奏者なら、一度は夢見る企画です。

- Q3 ブラームス：
ピアノ四重奏曲第1番作品25ト短調

室内楽を愉しむ上で親しみやすい作曲家はブラームスだと思います。中でもマスターべきである作品25の、ピアノと弦楽器が溶け合う様子は、ピアノ三重奏などとは違った、特別な魅力を感じます。

- Q4 私の心の住処。



真家 利恵

Rie Shinka
ヴァイオリリスト／ヴィオリスト

violin viola



竹田 詩織

Shiori Takeda
「東京交響楽団」ヴァイオリン奏者

violin

- Q1 音に忠実であること。
Q2 バッハの無伴奏ソナタとパルティータの全曲に取り組むこと。

- Q3 ブラームス：
弦楽四重奏曲第1番
産みの苦しみを経て書かれた傑作です。

- Q4 いつも私を呼んでいる場所。



湯浅 いづみ

Izumi Yuasa
ヴァイオリニスト

violin

- Q1 聴衆に音楽を通して喜びと幸せを与え、音楽の素晴らしさと伝えることの出来る演奏者になること！
Q2 2020年はベートーヴェン生誕250周年なので、出来るだけベートーヴェンの作品にチャレンジしていきたいです♪

- Q3 チャイコフスキイ：
弦楽セレナーデ 作品48 ハ長調

弦楽合奏としては最高峰の曲！深く美しい音楽なので、11月3日のコンサート会場でぜひお聴きください。

- Q4 最も自然体でいられる場所。



棚橋 恭子

Kyoko Tanahashi
ヴィオリスト

viola

- Q1 自分の時間。
Q2 オリジナル作品を創作すること。
Q3 ザ・ピートルズ
様々なジャンルの音楽や文化を取り入れられた作品は斬新で、50年以上経った今聴いても古びることなく、いつ聴いても新鮮な感覚で聴くことができます。
Q4 育ったまち。



門脇大樹

Hiroki Kadokawa

「神奈川フィルハーモニー管弦楽団」チェロ奏者

cello

Q1 毎日いろいろな事を考えてしまい、何が一番大切な事かはまだ模索中です。

Q2 まさにこのTCOです。もって定期的に演奏会を開けるようにしたいです。

Q3 シューベルト：
ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ

ゴールドベルグとルブーの演奏がおすすめです。本当に素晴らしい作品と演奏だと感じるからです。

Q4 とにかく落ち着く場所。



灘尾 彩

Aya Nadao

チェリスト

cello

Q1 ●●●●●●●●●●●●

Q2 ●●●●●●●●●●●●

Q3 ●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●

Q4 ●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●



時本野歩

Nobu Tokimoto

アレクサンダーテクニークにはまっています

cello

Q1 全力で演奏する。

Q2 自作自演(制作途中です!)。

Q3 素敵な曲はたくさんあります。好きな作曲家を見つけるのが楽しいかも。

そして、曲の有名なところだけでも良いので、いろいろと聴いてみるのが良いと思います。

Q4 鳥取はオアシスです。



村岡苑子

Sonoko Muraoka

チェリスト

cello

Q1 音楽を好きでいること、自分が音楽を楽しむこと。

Q2 自宅でのレコーディング、作曲、YouTube。

Q3 シュトラウス：
メタルフォーゼン～23の独奏弦楽器のための習作
聴いたらわかります!!!

Q4 頑張ろうという気持ちを思い出させてくれる場所。



中嶋寄惠

Yorie Nakashima

フリーランス

cello

Q1 健康第一。

Q2 ヴァイオリンを始めました。チェロとの違いを改めて感じています。

Q3 ブクステフーデ：
主よ、あなたさえこの世にあれば(Herr,wenn ich nur dich hab)

1668年の曲で宗教音楽ではありますが、とても美しい旋律です。ぜひ聴いてみてください。

Q4 特別な場所ではなくて、好きな場所。



神庭智子

Satoko Kamba

コントラバス奏者

double bass

Q1 ●●●●●●●●●●●●

Q2 ●●●●●●●●●●●●

Q3 ●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●

Q4 ●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●